

平成26年度 当社単独決算における経常損益・当期純損益の変動要因

○ 平成27年3月期（対前期比較）

(億円)

	27年3月期 実績 ①	26年3月期 実績 ②	増減 ①-②
売上高	6,639	6,046	592
営業損益	45	△842	887
経常損益	△87	△988	900
当期純損益	※ 42	△642	684

※ 当期純損益は、法人税法の改正による繰延税金資産の一部取り崩しなど（64億円）はありましたが、純資産の毀損を抑制するため、前年度末まで保有していた湯水準備引当金を全額取り崩し（193億円）たことにより、42億円の利益となりました。

【経常損益の変動要因】

(億円)

好転要因	悪化要因
<ul style="list-style-type: none"> ■ 電気料金の値上げによる増収 503 ■ 人件費・修繕費・諸経費などのコスト削減 312 ■ 燃料価格の低下 211 ■ その他 17 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 水力発電量の減少による燃料費の増 143
差し引き 900億円 好転	

【当期純損益の変動要因】

(億円)

好転要因	悪化要因
<ul style="list-style-type: none"> ■ 経常損益の好転 900 ■ 湯水準備金の引当・取り崩し 220 <ul style="list-style-type: none"> 25年度：湯水準備金引当の反動 26 26年度：25年度末引当金残高の全額取り崩し 193 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 前年度の繰延税金資産計上の反動 372 ■ 法人税法の改正による繰延税金資産の一部取り崩しなど 64
差し引き 684億円 好転	